# 地域包括支援センターによる 新型コロナウイルス感染症に 関する取り組み状況について

令和2年6月 大阪市福祉局高齢福祉課

### ① 地域の集まりがなくなり、外出機会が減った

#### 現状

- ●地域の行事(ふれあい喫茶、食事サービス、百歳体操など)が中止となり、高齢者の外出の機会が減り、地域福祉コーディネーター等からはフレイル(加齢により心身虚弱の状態)の進行の心配の声がある
- ●認知症高齢者と暮らす同居家族の 気分転換の機会が減り、虐待リスクを 高める状況にあるという相談が入る

#### 課題

- 心身、認知面の機能低下の可能性あり
- ●家族の負担が増え、**虐待ケースの増加**

### 取り組み内容

- ●百歳体操、認知症予防活動等に参加されている方に お便りはがき、「適切な外出と会話を(福祉局作成)」等 のチラシ、マスクを送付
- ●認知症カフェ参加者にチラシ等を自宅に届けた
- ケーブルテレビで放送される百歳体操のチラシを利用者や ケアマネジャーにも配布
- 百歳体操や「感染予防のためにできること」チラシを地域に 掲示
- ●福祉コーディネーター、民生委員、町会等と情報交換を 行い、地域支援者に相談窓口の周知を行った
- 高齢者相談圏域内のスーパーやコンビニ等に相談窓口の 周知活動を行った
- 担当ケアマネジャーのモニタリングで本人の異変等に気づいてもらえるよう発信

- ●地域支援者より、地域行事がなく なり、外出・運動の機会が減った高 齢者に声かけするツールとして活用 できるという声あり
- ●スーパーやコンビニ等に周知を行う ことで、相談窓口の周知が拡がった
- ●地域支援者からの相談が速やかに つながっている

#### 今後の取り組み

- ●地域支援者やケアマネジャーとこまめな 連携を強め、情報共有・交換をする
- ●認知症初期集中支援チームとの早め の連携強化
- ●生活支援コーディネーターと区理学療 法士協会と連携し、介護予防の体操チ ラシを作成

#### 使用した媒体

- ・百歳体操のチラシ(福祉局提供)
- ・感染予防のためにできること (健康局提供)
- •適切な外出と会話を(福祉局提供)
- 自宅でできるおすすめ筋トレメニュー (筑波大学監修)
- ・自宅で誰でも簡単にできる体操 ストレッチ (包括作成)



阿倍野区地域包括支援センター作成

### ② 相談数の減少 (特に新規)



#### 現状

- 高齢者や地域・ケアマネからの新規 相談数が減っている (緊急事態宣言後)
- ●最近は高齢者の姿を見なくなった
- ◆ 人との接触を避けるため訪問を断られる
- 安否不明に関する相談が多くはないが 入っている

#### 課題

- ●必要な相談ができず、対応が遅れる可能性がある
- ●包括職員が地域に出向き、高齢者の生 活状況の現状把握が困難

### 取り組み内容

- ●自宅でできる体操や脳トレなど記載した包括ニュースを自宅へ投函
- ■厚生労働省から配布されたマスクをコミュニケーション ツールとして活用
- ●見守り事業等に登録されている高齢者に電話にて 安否確認実施
- ●民生委員など地域支援者と高齢者の状況や変化 等の聞き取りを実施
- ●町会等の回覧・掲示を活用して幅広く相談窓口の 周知

- 普段なら平日に連絡がつきにくい 家族と話をすることができた
- 5月に入り、相談件数が増加している
- ●地域支援者への聞き取りを行うことで、見守り意識が向上した

### 使用した媒体

●包括だより





中央区北部地域包括支援センター作成

今後の取り組み

- ●医療機関、薬局、スーパーや郵便局など重点箇所への包括啓発チラシの周知依頼
- ●家族介護交流会参加者、百歳体操参加者への電話での困りごとの聞き取り
- ●地域の民生委員等への地域の困りごとを電話で聞き取り
- ●マンション管理人や管理会社への顔の見える関係づくり



○○地域包括支援センター

高齢者の相談窓口

### ③ 地域や関係機関との連携

#### 現状

●各種会議や連絡会の開催が中止、自粛

#### 課題

●情報共有や連携が難しい

#### 取り組み内容

- ●区内包括の連絡会をWEB会議で実施した
- 医療機関との連携を強化した
- 町会等の回覧板・掲示板の活用



#### 取り組みの効果

- WEB会議で区内包括、区役所との情報共有、意見 交換が安全に行えた
- ●地域や関係機関との情報共有を丁寧に行う意識が高まり、連携強化につながり、相談につながっている
- 医療機関との連携が深まり、医療機関からの相談や情報提供が増えた

#### 今後の取り組み

- ●ネットワーク会議に参加していない事業所等にコロナ関連のみならず、大切な情報が得られるように会議参加の声かけ
- ●地域役員等と中心に連絡を取り合い、協働可能なことについては感染予防に努めつつ参加する
- WEB会議など安全な方法での会議の開催

### ④ サービスの受け皿の減少



#### 現状

- ●デイサービス、ショートステイ縮小
- 新規受け入れの中止などサービスの受け 皿が減っている

#### 課題

- ●外出が制限される高齢者の<u>心身、認知</u> 面の機能低下の可能性あり
- ●利用者や家族に感染者が出た際にヘルパー訪問可能かCMの不安あり
- ●<u>在宅生活が困難な方の受け入れ先が</u> 少ない
- ●サービス休止に伴う家族負担の増大

#### 取り組み内容

●施設種別や地域を拡げると共に、施設紹介業者などの情報を持っている事業所に相談している

#### 取り組みの効果

●支援者も施設に対する知識が増えてきた

#### 今後の取り組み

- ●徘徊が多い<mark>認知症高齢者</mark>等に対して、施設入所だけでなく、より在宅生活を少しでも継続できるような取り組みについて今後検討していく必要がある
- ●ケアマネジャーが対応に困っていることや不安について圏域内の居宅介護支援事業所への新型コロナに関するアンケートを活用し、それを踏まえケアマネジャーの後方支援を検討

### ⑤ デイサービス等の自粛

### 現状

- 高齢者、家族が感染リスクにより利用を控えている
- ●デイサービスの利用是非等についての相談あり
- 高齢者のサービス利用自粛による収入減少や 訪問対応するかなどの従来にない運用を検討す べき状況となっている

#### 課題

- ●陽性者、濃厚接触者への偏見・差別意識
- 事業所間で情報共有、課題共有の場がないため、困りごとを抱え苦慮している事業所があるかもしれない

#### 取り組み内容

- ●公正・中立の立場で傾聴、助言に努めている
- ●在宅医療・介護連携相談支援室の提案で、介護 サービス事業所対象のアンケート実施

### 取り組みの効果

●検証に至っていない

#### 今後の取り組み

- 事業所の不安も軽減できるような取り組みや仕組みづくりについての働きかけを継続
- 感染者や濃厚接触者への偏見や差別意識をなくすための啓発

### ⑥ 高齢者の感染拡大防止の認識が乏しい

#### 現状

- ●商店街等に多くの人が見られる
- 利用者、高齢者側の訪問拒否等はあまりない
- ●認知症の方が感染防止策を取ることが難しい
- 来所時・訪問時にマスクをしていない

#### 課題

- ●高齢者の感染拡大防止の意識が低い
- ●感染予防に関する情報が届いていない
- <u>認知症の方への声かけおよび情報提供が</u> 難しい

#### 取り組み内容

- ●地域等に感染拡大防止の啓発ポスターを4事業連絡会で配布
- ■区のあんしんパトロールへ商店街近辺での感染防止の啓発アナウンス依頼
- ●地域見守りコーディネーター等へ市からのコロナに関する情報を提供
- ●来所時、訪問時にマスクをもっていない高齢者に配布し、コロナ感染予防のほか、脱水、熱中症予防の注意喚起

●包括職員が訪問時等に感染防止対策を実践することで、 予防の情報提供、意識づけになった

### 今後の取り組み

●地域や介護サービス事業者と連携し、コロナ感染防止 や熱中症予防の啓発を継続

### 使用した媒体

- ●マスクの正しい着け方(福祉局提供)
- ●「新型コロナウイルス感染症(日本老年医学会) 高齢者として気をつけたいポイント」チラシ



## ⑦ 包括職員の感染予防



#### 現状

- ●包括スタッフの感染予防、拡大防止対策
- ●感染が疑われる身寄りのない高齢者の検査同行をせざるを得ない状況があった

#### 課題

- ●マスク、消毒液などの予防物資の不安あり
- ■区役所保健師と連携を取りながら対応したが、 感染疑いの事例を包括がすべて対応するのか

#### 取り組み内容

#### 【体制】

●毎朝出勤時検温、2チームに分けた交替勤務 (オンライン研修の受講活用等)

#### 【事務所内】

- 事務所の消毒、包括事務所内を分離して、別動線の確保
- ●出入口にアルコール設置し、来所者への消毒を依頼

#### 【訪問時】

- ●包括職員は携帯用アルコールを持参し、訪問時使用
- ●間に合せの防護装備を一定ストック
- 訪問出張用にゴーグル購入。相談スペース等アクリル板の 設置
- ●訪問時のソーシャルディスタンスの確保、換気の実践

- ●包括職員の感染防止の意識・健康管理の向上
- ●感染疑い事例の対応として、いざという時に初動が遅れない体制は確立できた

#### 今後の取り組み

■緊急事態宣言が解除されても、「3 密」を避けるなど、 この機に限らず、感染防止対策を継続する

#### 使用した媒体

- ●介護事業所の皆様へ ~新型コロナウイルス感染予防に向けて~
- ●フェイスシールドの作り方 (包括作成)

#### 介護事業所の皆様へ ~新型コロナウィルス感染予防に向けて~

平素は大変お世話になっております。新型コロナウィルスについて巻息が見えず、ロベ、不安とともにサービスを感をされていることと思います。すでに事業所でも対応集を取られていることと思いますが、ロペの対応および感染が減わしい方への対応について厚労省ホームページより返幹しておりますのでご活用ください。

① 白身の健康管理に留意 し、出動前に各白でな温 を計測して、発系や原症 ながある場合は出勤しな い。





※ 商家や襲导接触が残われる方へケアを行う場合には、マスク音目に加えて、使い路で手段を使用しましょう。すがある方への対象がオフェイスシールドも活用しましょう。

郵鉄や基享接減が軽われるカヘケアを行う場合には、可能な限り担当満員を分けての対応や最後に訪問するなどの対応を行いませます。



⑥ マスクの着訊徒の取り扱

い、こまめな手洗い、換



感染症拡大防止にご協力ください



#### ~フェイスシールドの作り方~

3)クリアファイルに切りした社を入れる。A4系寸で右下の角をクリアファイルの空いている側の角に合わせます。里路の「STICHE DEDE」の部分をといる第20に合わせます。 使用するクリアファイルは高速圏 PP もしくは PET の、透明度が高いものをご使用ください。薄くてよければクリアボケットでも代用できます。カット形に事的に透明度が発力かどうか搭電路しましょう。

③ かぶって完成! ヘッドバント部分を後ろに折り返し、かぶって出来上がりです。 中東の 高能なフェイスシールドと連合なく快変に使用できます。 住之江区さきしま 地域包括支援センター作成

\* 令和2年4月7日付 厚生労働省事務連絡 「社会福祉施設等における感染拡大 防止のための留意点について(その2)」を 基にイラスト入りリーフレット作成

### ⑧ 濃厚接触者となった高齢者対応等の相談

#### 現状

- ●担当ケアマネジャーより、家族が陽性で濃厚接触者となった高齢者の訪問介護の依頼を受ける必要があるのか問い合わせがあった
- 身寄りがなく、感染が疑われる方の検査同行が 必要な事例があった

#### 課題

●感染症防止しながらサービス提供をすることの 困難さ

#### 取り組み内容

- ●大阪市から提供されたFAQに基づき回答
- ●防護装備のストックや防護物品のストック

#### 取り組みの効果

- さまざまな質問に対し、調査回答することで事業所との 連携が維持できている
- ●いざという時に初動が遅れないような体制は確立できた

#### 今後の取り組み

●今後もケアマネジャーからの質問に丁寧に答える

### ⑨ ケアマネジャー・介護サービス事業所からの相談対応

#### 現状

●別居家族が濃厚接触者で、本人にその家族が接触したため、サービス提供の相談あり

#### 課題

●事業者間での情報共有の場の減少

### 取り組みの効果

- 現時点で判断はできないが、支援者間での共 有はできた
- ●ケアマネジャーの意識が向上した

#### 今後の取り組み

- ●今回のような非常事態に限らず、災害時等でも各事業所などでスムーズに情報共有や発信、連携が取れる仕組みづくりを検討
- ●アンケート結果を踏まえ、包括としてできることを検討

#### 取り組み内容

- ●在宅医療・介護連携相談支援室の提案で、介護 サービス事業所を対象とするアンケート調査の実施し、 結果や関連情報を事業所間へ発信
- ●在宅医療・介護連携相談支援室、包括、区役所、 居宅介護支援事業者連絡会、薬剤師会等とコロナ 会議の実施

●圏域の居宅介護支援事業所への新型コロナウイル ス感染症にかかるアンケート実施

### ⑩ 経済面・金銭管理の問題

#### 現状

- ●緊急援護資金や事業所向け休業給付金相談
- ●成年後見制度の申し立てが進まず、入所手続きが滞った

#### 課題

- ●各種貸付制度や給付金に関することなど必要 な情報が行き届いていない可能性あり
- 金銭管理や契約等が本人はできず、生活状況 の悪化

#### 取り組みの効果

- ●事業者間で同じ媒体での共有
- ●関係機関との連携の深まり、臨時的な対応を 通して、それぞれの機関の役割の見直しと役割 分担ができ、滞ることなく支援継続できた

#### 取り組み内容

- ■緊急援護資金や事業所用休業給付金に関する相談等窓口へつないだり、案内チラシを渡している
- 関係機関と成年後見人選任までの対応について検討し、役割分担にて対応した

#### 今後の取り組み

●地域福祉コーディネーターや民生委員との地域役員とケアマネジャー等の専門職とさらに連携を密にしていく

## ⑪詐欺被害

#### 現状

●特別定額給付金等の特殊被害に合う高齢者 が危険だという声がある

#### 課題

●詐欺に合う高齢者の増加



#### 取り組み内容

● 地域コーディネーターやなにわ元気塾などの担 当者と協働し、地域で気になる高齢者リストを あげてもらい、郵送で担当者メッセージと「特殊 詐欺に注意」のチラシを同封し送付

#### 取り組みの効果

●地域や様々な関係機関と連携することで閉じこもって しまう方への声かけの方法を考える機会となった

#### 今後の取り組み

- ●返信用はがきを同封することで、近況を知らせても らい、状況把握する
- ●詐欺防止のため、警察からのチラシを介護サービス 事業所へ配布し、利用者へ周知

#### 使用した媒体

- ●「特殊詐欺に注意」のチラシ (包括・ブランチ作成)
- ●消費者センターのチラシ



15